地域の消費と流通を探る



対象	中学生・高校生
目安時間	２～３コマ　＋　授業外調査

小学校高学年版「わたしの町の 紙とお店マップ」での気づきを一歩進め、地元の店舗・企業への聞き取り調査を通じて、地域内の消費・流通の実態をレポートにまとめます。「選ぶ」という消費者の行動が、地域経済や環境にどうつながるかを考察します。

進め方

- 導入（10分）：小学校高学年版「わたしの町の 紙とお店マップ」のマップを振り返り、「なぜその店はその取り組みをしているのか」を問いかける
- STEP1～2（20分）：生徒それぞれが問いと仮説を立てる
- STEP3（授業外・1～2週間）：地元の店舗・企業に簡単な聞き取り調査を行う
- STEP4（20分）：調べた内容をもとに考察する
- STEP5（1コマ）：提言をまとめ、発表・共有する

評価観点（案）

問いの質　　：自分なりの視点で、調べる価値のある問いを立てられているか

調査の妥当性：許可を得たうえで、誠実に聞き取り調査ができているか

考察の深さ　：調べた内容から、地域の消費・流通の特徴を整理できているか

提言の具体性：調べた内容に基づいた、具体的な提案になっているか

声かけ例

- 「そのお店は、なぜ その取り組みを 始めたんだろうね？」
- 「聞き取りを するときは、相手への感謝を忘れずに」

発展・アレンジのヒント

調査結果を「地域版FSC提言レポート」としてまとめ、自由研究・探究コンテストへの応募につなげることができます

FSCひろめ隊（アンバサダー活動）と組み合わせ、調査結果を地域や学校で発信する活動に発展できます

留意点

聞き取り調査は、事前に学校・保護者・調査先の許可を得たうえで実施してください。特定の店舗・企業を否定的に評価する結論にならないよう配慮してください。

関連する「森の仲間と学ぶFSC講座」

第15回　紙から考える森・資源・わたしたちのくらし

（1）ティッシュとトイレットペーパーは、何からできているの？
https://shitte-erabo.net/fscproducts/study/13692/

（2）リサイクル紙と国産材の紙、どちらがいいの？
https://shitte-erabo.net/fscproducts/study/13771/

（3）商品から考える、選んで応援する買い物とは？
https://shitte-erabo.net/fscproducts/study/13810/

FSC認証製品を扱うかどうかは、店舗や企業の調達方針を映す指標の一つです。地域の店舗にとってのFSC認証の位置づけを知ることは、認証制度の社会的な広がりを実感する材料になります。

※本プログラムは個人・教育目的での複製・印刷利用ができます。改変・商用利用はご遠慮ください。

探求学習ワークシート
「紙とくらし」シリーズ

地域の消費と流通を探る



「選ぶ」という消費者の行動は、地域の経済や環境とどうつながっているのだろう？

STEP1　問いを立てよう

地域の消費と流通について、自分が「調べてみたい」と思う問いを立てよう。

- 地元のお店は、なぜ環境に配慮した商品を取り扱っているのか？
- FSC認証製品は、地域の店舗にどのくらい広がっているのか？
- 消費者の選択は、地域の店舗の取り組みにどう影響しているのか？

私の問い：

STEP2　仮説を立てよう

その問いに対して、今の自分はどう予想する？　理由もあわせて書いてみよう。

STEP3　調べよう

地元の店舗・企業に、許可を得たうえで簡単な聞き取り調査を行ってみよう。

調査先	聞いたこと・答え	気がついたこと

STEP4　考察しよう

調べたことをもとに、仮説は正しかったか、新たにわかったことは何かを整理してみよう。

STEP5　提言をまとめよう

地域の消費・流通をより良くするために何が必要か、調べたことを根拠にしながら自分の意見をまとめてみよう。

※本プログラムは個人・教育目的での複製・印刷利用ができます。改変・商用利用はご遠慮ください。